

学校通信

教育目標：「社会人基礎力の育成」

令和 2 年 7 月 7 日 第 1 2 号 四万十町立大正中学校

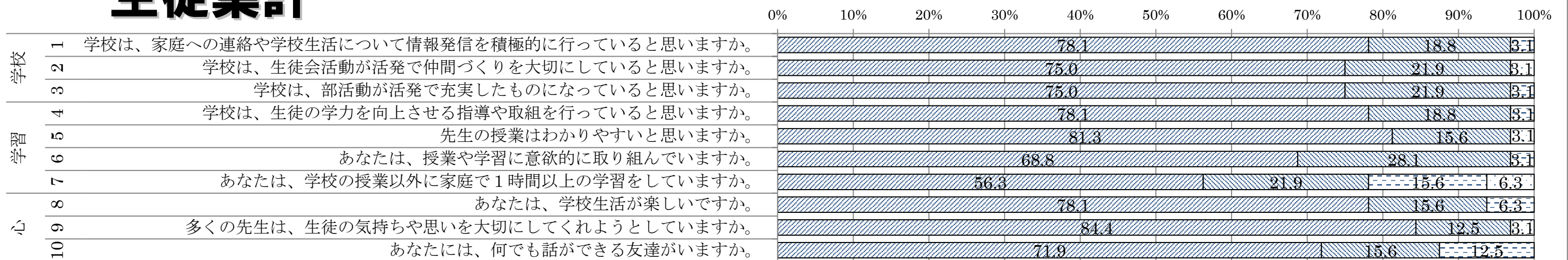


学校評価アンケート（前期）について

令和2度学校評価アンケート（前期）について、下記のとおり集計しました。今後は、学校関係者評価委員会（地域・学識経験者・PTA）において、本アンケート結果や2学期以降の取組についてご意見を頂き、職員会で教育活動の推進や改善について協議し、取り組んでまいります。ご協力ありがとうございました。

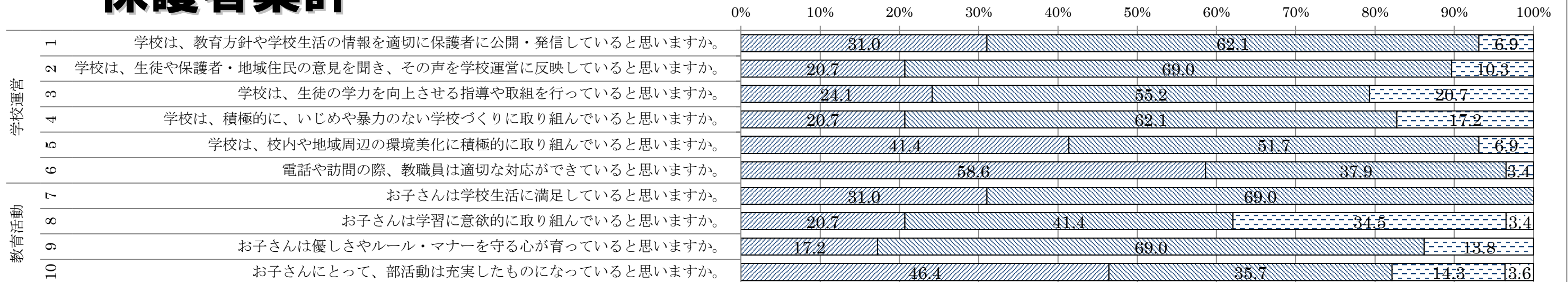
生徒集計

☒ A そう思う ☒ B ややそう思う ☐ C あまり思わない ☐ D 思わない



保護者集計

☒ A そう思う ☒ B ややそう思う ☐ C あまり思わない ☐ D 思わない



【 分 析 】 生徒肯定評価（A回答+B回答）は93.8%、保護者肯定評価は86.5%です。下記のとおり分析し、課題の改善に取り組んでまいります。

生徒の肯定評価は93.8%とおおむね良好でした。8項目において90%以上の肯定評価となりおおむね満足となっています。課題としては設問10「何でも話ができる友達がいますか」の否定的評価が12.5%となっており、仲間づくりに力を入れた学級づくりや授業の関わりなど人間関係の構築に注力する必要があると感じました。また、設問7「1時間以上の学習」では5人に1人が達成できていないことになり、全員が家庭学習に取り組む意識を高める手立てが必要であると感じました。保護者の評価を見てみますと、昨年に比べ設問4「いじめ暴力のない学校づくり」の肯定評価が昨年度より7%向上し、設問7「学校生活に満足」においても肯定評価が6%向上して100%となり学校の生活環境が向上していることを表しています。一方で設問3「生徒の学力を向上させる指導や取組」の9%肯定評価がさがり、79%となり、設問8「学習に意欲的に取り組んでいる」も62%と低い結果となっています。前期の学校評価の結果から、今年度は特に学力の向上を図らなければならないことが伺えます。キャリア教育の視点を持ち、将来にわたって自ら学ぼうとする意欲を高める指導の在り方を探っていきます。そして、各授業で学びの必然性を設定し生徒の学びの内的動機を高め、仲間と協力しながら学びを深めていく授業づくりを強化していきます。また、ご家庭からのご意見としてありました「ヘルメットの着用」「ルールを守る」「子供たちが希望を持てる指導」につきましても、皆さまからいただいたご意見を真摯に受け止め、規範意識のある自己肯定感を育むよりよい学校教育ができるように指導してまいります。